



ディーラーメッセージ

札幌トヨタ自動車 札幌支店

新車第二課 マネージャー **森 伸一** さん



新車トヨタ・ポルテが全車に助手席側スライドドアと運転席側後部のインゲニアを標準装備でデビューしました。女性へのアンケート調査結果を重視して開発し、女性向けモデルとしてのキャラクターを強化させたところがポイントです。例えば、ハンドル前のスペースに小物トレイや写真立てにもなるポストカードホルダーを設けたり、カップ/ボトルホルダーを7か所に増やし、さらにアンブレラホルダーも、といった具合に、随所に女性向け、ファミリー向けのアイテムを満載しました。もちろんファミリーユースを重視した室内の広さや、走り、エコ性能も旧モデルをしのぎます。ぜひご来店の上、お確かめ下さい。



じっくりした走行感覚

インプレッション

札幌市中央区の札幌トヨタ札幌支店から借り出した新車ポルテの最上級車種「1.5 G-4WD」エクステリア全面に「家ノク」をモチーフにしたデコレーションが施され、その女性ユーザーを意識した華やかな装いが、男のデスターには少々気恥かしいが路上に出るとドライバーの意志に少しも逆わず、右足の入力に寸分違わずにダッシュし、シフトのDはもちろん、ダイヤレクトの強いDに入れた時のメリハリのある加速のフィーリングは、むしろスポーツカーと云っていい領域だ。

175/65 R15 155ポールのタイヤはポルテのキャラクターにはややオー

自動車の道のサビエリアに止め、スライド/スイングの2つのドアの開け開めをチェックし、キャビン後部に座ってパワセンジャーの観点でユーザーイテを点検。が、不満箇所は見当らず、逆にその空間の広がり、改めて驚かされる。アルファード級とメーカーが要請するそのスペースは間違いなくコンパクトの基準を大幅に凌駕する。そして女性なら、きつと有効かつ合理的に使いこなすであろう収納装束の多彩さ。いざ立ち座るときに女性向きだが、走りはむしろ男性の感覚にフィットし、そんな新車ポルテ。試乗を終えてディーラーに戻り、岡田高支店長に男性は乗ってもそう違和感はないですね。女性のクルマと決めてかかるのはどうでしょう。この理想を告げる。支店長は「ご夫婦の間でハンドルの奪い合いになるといいですね」。我が意を得たりといった風情で笑顔で語った。

家族ユースに難点無し

パライサイズの感が否めないが、乗り心地はフラット。サスペンションの働き具合は上々で、街乗り、山道、高速道のいずれのシーンでも追従性、安定性に優れ、ステアリングに呼吸してドライバーとクルマの一体感を感じさせる素直な特性を示す。もちろんコーナーでのロールは最小限だし、前Aピラーの位置と形状に改良を加えたことに伴うドライバースイートからの前方視界を筆頭に、全方向パノラマビューと最小回転半径5m（1.33）は4.6mの最小回転半径で、走りやすさは申し分ない。